

別表 支部・委員会の活動

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-6 シンポジウム・講演会の開催	秋田	11月22日 岩崎元郎氏講演「健康登山in秋田」を後援。 秋田市にぎわい交流館で開催。参加者約180名
	山形	一般市民対象講演会 南極越冬隊長の南極の自然や観測隊の生活の講演会。8月31日一般市民出席者 約80名
	茨城	講師を外部または会員に依頼し、登山・山関連や海外登山などに関する講演を実施。4月、6月、9月、11月、1月の5回実施した。一般参加者は年間69名
	栃木	「アムールトラ」に関する講演会を開催し、絶滅危惧種の野生動物保護の啓蒙活動を行った。12月に実施。一般参加者53名
	埼玉	「ハイキングレスキュー講習」、「第7回安全登山読図講習会」及び埼玉県山岳救助隊による実際の事例の講演を年3回実施した。
	千葉	千葉支部主催によるシンポジウム「富士山と房総を語る集い」の実施 6月29日。同シンポジウムに関連した自然観察会の実施。11月8日
	東京多摩	講演会「山岳遭難は誰にも起きる」、「世界の山々を旅して」を10月、2月に実施。550名参加。
	越後	毎年7月25日に新潟県登山祭として高頭祭を実施している。本年は 支部及び一般参加者80名。記念式典終了後、日本山岳会森会長より「祝日山の日制定と今後の活動」と題し記念講演を行った。その後清掃登山をしながら弥彦山頂に移動し、日本山岳協会神崎会長の記念講演「地球の三極、(北極・南極・エベレスト)」と題し記念講演を行い、支部会員による弥彦山清掃登山も実施。
	富山	山岳講演会を平成27年2月24日、富山市民交流館で実施、参加者88名 「『越中の百山』から『富山の百山』へ」 講師：日本山岳会富山支部長 山田 信明氏
	信濃	《登山がもたらす豊かな人生、山の魅力を次世代へ》をテーマに11月29日、30日に松本市主催により開催。各種展示会、講演会などを開催。このフォーラムに関係団体と共に事務局として参加した。
	岐阜	山岳講演会「山小屋から見た日本のエネルギー問題と「山の日」」(講師:日本山岳会会長 森 武 昭 氏)を開催した。一般参加者を含めて86名の聴講者であった。 山岳写真展12月1日～12月28日 岐阜市内で実施。180名参加。
	京都滋賀	京丹後市の教育委員会からの依頼を受け、安全登山を普及させるためのスキルアップ講座を2月、3月に計4回開催した。支部会員が講師を務め、実践登山では、指導者、補助員として参加した。一般参加者は抽選で選別された20名。
	関西	著者と語る会・・・11/15、大阪府立図書館にて、成瀬陽一氏による講演会を実施した。参加者25名
四国	第2回小島烏水祭に伴う日本山岳会森会長による講演会実施。	
I-7 「山の日」プロジェクト	東京多摩	6月1日、高尾山清滝駅前前で「山の日アピール集会」実施。アピールビラ配り。支部員40名参加。
	山梨	第10回山の博覧会(富士山特集)を7月5日(土)甲府市・山梨学院メモリアルホールにて開催した。参加者一般430名、会員30名、山梨県やまなし山の日実行委員会、山梨学院生涯学習センターが共催。「登拝修行」放光寺住職 清雲俊雄氏、「青木ヶ原樹海」山梨日日新聞記者 前島文彦氏、「山の日と男の友情」作曲家 船村徹氏が講演し、「山の日」祝日制定を記念した。
	信濃	6月1日に上高地ウェストン碑前において「ウェストン祭」を実施した。山の美しさをたたえ 登山の安全を祈るためのイベント。記念講演は花谷泰弘氏。一般参加者約300名。
	東海	「山の日」制定に向け、山の恵みについて考えようをテーマに山岳関連総合イベント「第2回夏山フェスタ」を愛知県産業労働センターにて6月7～8日開催、。主催の実行委員会に全面協力。6650名来場
	山陰	第1回「山の日」を語る米子集会 の開催 (8月8日 米子コンベンションセンター) 参加者300名
	広島	「ひろしま『山の日』県民の集い」実行委員会の主要メンバーに、加わり、官民一体となってひろしま「山の日」県民の集いを実施してきた。第13回の26年度は、広島支部は5/31(土)「霧ヶ谷湿原 自然再生地」(下流部2.5ha)の保全活動を行い、6/1(日)には北広島会場(14名参加)と東広島会場(21名参加)で初心者向けの登山教室を行った。
	福岡	「岳人のつどい」山の講演会。2015年2月1日(日)映画「盲目のクライマー」上映とヒマラヤ・トレッキング・スライド会を太宰府市太宰府館まほろばホールにて開催。一般参加者約130名。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-8 インターネット	京都滋賀	支部「ホームページ」による通年の安全登山の啓蒙、登山文化の継承活動。
	DM委員会	会務情報インターネットシステム提供(登山文化資料の公開、登山振興事業情報の周知、登山関係諸公的機関情報の周知支援)
I-9 登山教室の実施	北海道	NHK文化教室主催の登山教室への講師派遣協力
	宮城	地域の登山愛好家に呼びかけ、一般公募登山(登山教室)を3回実施した。
	山形	第1回公募登山7月は鳥海山にて一般参加者17名。10月は月山に於いて一般参加者17名。 総計34名
	埼玉	6月15日 第6回講習会「ハイキングレスキュー講習」で講師は埼玉県岳連遭難対策委員長の瀬藤氏が実施。 10月28日に第7回安全登山机上読図講習会 11月8日現地講習。 1月24日に第10回講演会 「油断と過信その思い込みが命取り」埼玉県警察山岳救助隊飯田副隊長による講演で54名が参加した。。 2月21日 第8回講習会心肺蘇生法とAED使用方法の実施。
	東京多摩	第3期初心者登山教室(4月～6月)/受講生34名、第3期初級登山教室(7月～3月)/受講生25名、第2期初級登山教室(4月～3月)/受講生14名。
	越後	6月8日信越トレイル(関田峠～伏野峠)で参加者17名、9月7日信越トレイル(伏野峠～天水山)で参加者15名、10月5日銀の道(銀山平～駒の湯)で参加者28名であった。毎回支部会員が10数名参加し、コースが伴いながら植生や地理的・歴史的な説明を行い登山啓蒙を行った。
	石川	5月に実施 一般参加者5名ロープワーク研修をクライミングボードと岩場の両方で行った。講師は登攀指導有資格者の会員がボランティアで行った。
	静岡	ハイキングセミナーの実施。4月20日寸又峡・沢口山1425m鹿のヌタ場見学などセミナー生14名。6月8日安倍奥・八紘嶺1918m シロヤシオ等観察でセミナー生20名。10月19日安倍奥・大谷崩/頭1999m 大谷崩と崩壊防止・緑化の状況、フジアザミ等の観察 セミナー生30名
	東海	中日文化センター・NHK文化センター・朝日カルチャーセンターの3教室で年4期に分け通年開講し、いずれも座学と現地山行。
	関西	初心者・中級者・上級者各クラス毎に、共通の3回の座学と、クラス毎に9回の実技講習を行った。延べ参加者員103名。 「安全な登山の普及」を目的に、山登りの初心者から雪山や岩登り等の本格的な登山を目指す方々を一般公募して実施した。
	広島	広島・呉・福山・岩国の4地区で毎月1回開催の「里山ハイキング」・「初級登山講座」・「中級登山講座」・「親子安全登山講座」(8月のみ実施)の4講座、10クラスに支部会員から講師・アシスタント講師を派遣した(延べ218名)。受講生は市民が延べ約1,100名が受講した。 広島支部主催で39才以下を対象の「ユースクラブ」を新設して、25回実施し、延べ80人が参加した。
	四国	「初心者向け登山教室」平成26年6月～平成27年2月までの毎月1回、香川県(高松市周辺)で実施。2月までの受講生延べ142名。最終回は2月28日から一泊で、大山での雪山安全登山講習会を実施。
	福岡	「パハルフェスタ in坊がつる」において、登山講座講師派遣と自然観察会等を担当。2014年4月26日(土)～27日(日)、大分県九重山法華院温泉山荘にて開催。一般参加者:50名
	熊本	第12回登山教室 九重連山 5月18日。九重山の横断道路の北にある泉水山から黒岩山の縦走登山を実施、目的のイワカガミや石楠花の花を觀賞しながら読図や休憩の取り方など学んだ。一般募集 参加者25名。 第3回勤労青少年登山教室 阿蘇鞍岳 7月27日一昨年からは始まった青少年のための登山教室、今年は新聞広告や市内各所にポスター掲示したため、若干、参加者が増加した。13名
	東九州	座学(1回の講座、1コマ1時間を2コマ)4回、実践講座(1泊2日の山行)2回、計6回の講座初心者を対象に募集、定員30名としたが、応募者多数で34名まで増やして実施。講師は全て会員が担当し、講座の資料等は全て講師の手作りで実施。
集会委員会	6月22日「救急救助研修会」を実施した(通算3回目)。参加者は21名(うち一般参加者は5名)。	

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-11 登山指導	山梨	山梨県山岳レインジャー活動 7月から9月 甲州アルプス・大蔵高丸、御坂山地・黒岳、南アルプス・白根三山、鳳凰三山、甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳で5回延べ8日間実施。
	山陰	大山冬山パトロール (2. 11及び3. 14～. 15の3日間 会員3名、鳥取県警2名合同で山頂までパトロール)
	遭難対策委員会	山岳遭難防止セミナー「山岳遭難の実態と救助現場からの声」 開催日：11月25日(火) 場所：東京体育館第1会議室 講師：長野県警察山岳遭難救助隊 宮崎茂男隊長 参加人数：60名
I-12 身体障害者支援登山	茨城	「茨城県 自閉症協会 協力登山」自閉症者協力登山は、6月に支部会員による下見登山、8月2日～3日に1泊2日で全員登山。参加者は自閉症者とその家族25名、ボランティア3名、茨城支部会員6名、合計34名で実施。
	埼玉	「障害者とのふれあい登山」26年4月6日一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会と共同主催で第4回ふれあい登山を実施。目的地は秩父の小川町の仙元山と里山歩き。障がい者48名と付き添い45名、日本山岳会埼玉支部会員30名、スポーツ協会2名で実施。平成27年1月10日一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会設立10周年記念式典で埼玉支部のふれあい登山の実績が評価され「功労賞」を受賞。
	東海	「視覚障害者支援登山」：視覚障害者9名を対象とし5月11日奥美濃の蕪山で実施。支援者26名参加。秋は雨天中止。 「スペシャルオリンピックス愛知との登山」：4月14・15日鈴鹿ハライドにて開催。障害児10名参加
	YOUTH CUB	10月に視覚障害者登山サークル「六つ星山の会」の焼岳登山を支援。今回は青年部が主力だったが、今後はワングルも参加予定。身体障害者等社会的弱者に登山の素晴らしさを伝える事を目標とする。
I-14 海外交流事業	海外委員会	海外登山支援体制の一環としてチベット遠征海外登山勉強会を要請に応じて実施できる体制を確立した。
	東海	日中韓学生交流登山隊の派遣。8月6～12日(韓国北漢山国立公園エコ・ラーニングセンター)
I-15 幼稚園児から中学生までの体験登山	宮城	仙台市立愛子小学校が実施した5年生の泉ヶ岳登山に指導員を派遣して協力した。
	栃木	「親子登山教室」を夏休みに実施、一般参加者20名。自然に触れながら親子の絆を深め、他人と協働しながら人格育成の一助とした。
	群馬	群馬県山岳連盟主催「チャレンジキッズプロジェクト」に協力。3月のスノーシュー体験から9月のマチガ沢まで全4回開催 小中学生延べ37人が参加、支部から2人を役員として派遣など
	千葉	児童養護施設「晴香園」(千葉県松戸市)の課外活動(登山)の指導及び協力。①金時山(9月20日) ②陣馬山(2月21日)
	東海	幼稚園児を対象として「親子のふれあい登山教室」10月11日・12日に鈴鹿の尾高山で実施。本年で9回目。11日は33組66名の親子と教師5名支部員15名、12日は59組118名の親子と教師11名支部員15名。「親子で一緒に山に登ると云う体験を通して、感動を分かち合い、絆を深めると同時に都会では味わえない自然体験を」を目的として実施。
	京都滋賀	「親子登山教室」5月18日、11月2日、2月25日に実施した。一般参加者45名。地域の親子のための登山教室を開催した。支部会員は、ボランティアで指導者、補助員として参加した。
	関西	山の日の山行・・・6月1日、一般の方を対象に子供・孫を含めた「わんぱく探検」を開催した。参加者12名
	四国	平成26年9月14日、15日に、徳島県ボーイスカウト連盟と共催で、登山学校を実施した。菅生(すげおい)ロッジで宿泊、野外研修を行ない、翌日は剣山に登った。会員7名、会員外28名。
	北九州	「さいわい幼稚園」児童の風師山遠足登山をサポートした。
	東九州	「第13回青少年体験登山大会」初心者を対象に山登りの楽しさ、面白さを体験してもらい、登山の普及につなげていくことを目的に、青少年だけでなく、一般の初心者も対象に募集し、1日日帰り登山を久住山で実施した。国際山岳年(2002年)以来実施してきており、今年で13回目。(参加者・64名)
	宮崎	「こども登山教室」毎年夏休み期間中に実施、本年は小学生～高校生22人を支部会員18人が指導して、自然体験活動を通じ、自然との共存共栄を図り、自然愛護の心、団結・協調性、忍耐力などの育成に努めた。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
I-16登山道 整備	青森	「八甲田山遭難防止対策スキーコースポール立て」2月と3月に実施 一般参加者90名。 八甲田山登山道整備ボランティアも実施。
	岩手	西岳清掃登山 参加者7名 5月27日、登山シーズンを前にゴミ拾い、登山道整備を実施した。さらに岩手山八合目の小屋管理実施。6名参加 8月2～3日
	宮城	「山の日」制定を記念して泉ヶ岳清掃登山を実施した。
	秋田	「太平山山開き清掃登山」6月9日実施 一般参加者約33名。「太平山歩道整備」11月8日、歩道の刈り払い、ベンチ等の設置を行った。
	福島	年3回、吾妻山、安達太良山における荒廃登山道整備計画に基づき取り組んだが、天候不順により1回のみの実施に終わった。
	栃木	「日光山系清掃登山」を実施。
	埼玉	12月13日・14日秩父 二子山・大持山の清掃登山とヒマラヤ遠征報告会の実施。
	千葉	「新日本山岳誌」改訂版出版のための調査山行(16山)を行った。
	東京多摩	「雲取山石尾根の石積み登山道整備」5月21日・22日、東京都レンジャーとの協働作業として、雪解け後の登山道の石積み整備作業を行った。支部員6名、都レンジャー5名、環境省アクティブレンジャー1名、サポレン4名、計16名参加。11月には同様活動として川苔山清掃協働作業を行った。支部員9名、他11名、計20名。
	越後	公募登山や支部会員親睦登山での清掃登山や、弥彦山雪割草パトロールを実施した。
	富山	「高頭山登山道整備」 5月31日に実施。「播隆祭」記念登山に先立ち、支部会員が登山道整備を行った。
	石川	「登山道整備活動」年11回実施(4月～11月) 一般参加16名 金沢、白山、加賀の各市の1ルート登山道の雑草の刈払や看板、ロープの補修や新設等を行った。
	福井	越知山登山道の整備。傾斜がきつい為、階段(50段)ロープ(50メートル)を取り付ける作業をした。
	信濃	ウェストン祭に合わせ事前に行行政機関と共に徳本峠登山道の状況調査や整備を行った。
	関西	六甲東お多福山復元化活動に参加。大阪府や各市町村が制定している自然歩道を、各自治体と連携して、道標整備や登山道の補修を行った。年間5回実施。
	山陰	島根県の出雲地方と伯耆地方の山々の調査を行い、山陰支部創立70周年を目標に「雲伯の山々」(仮称)を発刊予定。
	広島	11月29日(土)6名が参加して、聖山山頂付近の景観回復及び環境整備を行った。同日18名が参加して、高岳山頂付近の景観回復及び環境整備を行った。
	北九州	「英彦山清掃活動」北九州支部員19人の他、添田町職員、山岳団体等計90人(その内、北九州支部19人)の参加により、ゴミの回収作業を行った。
熊本	第15回・第16回森林保全巡視登山 4月26日(目丸山) 12名 10月4日(高岳)9名	
東九州	登山者の多い九重山系の登山ルートを毎年場所を変えての清掃登山実施(指山観察道)	

事業名	支部名 委員会名	事業内容
Ⅰ-17 山岳自然観察会の実施	岩手	自然観察会。仙人峠 6月14日 一般参加者1名、南本内岳 9月6日 一般参加者7名。仙人峠では廃れゆく峠道を探索、南本内岳では35種類の高山植物を観察・記録した。
	千葉	「房総ネイチャーハイキング」南房総の富山(とみさん349m)で実施。講師は県立中央博物館学芸員に依頼。県民30名参加。
	東京多摩	「自然観察会」一般市民対象に、8月21日「第5回御岳山レンジョウマ観察会」、1月7日「第5回高尾山シモバシラ観察会」、9月27日「国立四小高尾山自然観察ハイキング」実施。一般参加者83名。支部員は講師、リーダー、サポーターとしてボランティア参加。
	石川	自然観察会を県内の歴史あるハイキングコースで実施(会員の自然観察委員により、コースの歴史的背景や、植物の植生、生息する動物、眺望出来る山並み等を解説。)
	福岡	自然観察登山「イズモコバイモ観察と出雲の里山歴史紀行」2015年3月23日(土)～25日(日)に開催 20名参加。
	熊本	一般募集で集まった登山愛好家を含め、恒例の山の花鑑賞会実施、九重スキー場から猟師岳への登山道の途中で、貴重な花である純白のオオヤマレンゲの花を観賞した。参加者 38名
Ⅱ-2 山岳図書館の運営及び発刊事業	山陰	「雲伯の山々」(仮称)の発刊準備・調査(古事記など歴史を絡めて紹介する)
	図書委員会	山岳史懇談会「編集長・辰野勇氏が語る－新生『岳人』がめざすもの」開催 2014年9月19日 山岳図書を語る夕べ「探検家・角幡唯介さんが語る『探検』と『本』」開催 2014年10月3日
Ⅲ-1 森づくり活動	北海道	支笏湖復興の森づくり。NPO法人支笏湖復興森づくりの会に協力し2007年春から参加の本事業に北海道支部が分担する地域において初夏のアカエゾマツ人工林の下草刈りや秋の生長調査の実施。(・下草刈り 7月6日 参加者6人・生育調査 10月5日 参加者8人)
	青森	平成11年以来実施している「白神山地ブナ林再生事業」を津軽森林管理署と協力して実施(6月、11月に一般の協力を得て実施)。本年は一般参加者11名。下草刈りと植樹したブナの生育状況調査を行った。
	埼玉	緑の森博物館周辺の森づくり 下草刈り・枝打ち・等を9月28日実施
	福井	平成20年より福井県越前町より森づくりのために借りている藪山の整備を進めている。散策路の整備の為の樹木の伐採と苗木の植樹、花壇整備、草取りなど里山の復活を目指す。定例日以外にも、会員個人による作業が継続されている。11月16日(日) 和田小学校の親子を文殊山に引率した。
	岐阜	岐阜県林政部治山課との協働による「権現の森林づくり」を実施、26年度作業回数は14回(4月6日～11月23日)で、下刈り、育苗、林床の手入れ。参加者は延べ101名。
	東海	「猿投の森づくり活動」猿投の森と東大演習林における森づくりと市民の森林体験のための整備、森の幼稚園(11月8日)、森の音楽祭(10月25日)。
	関西	「本山寺山森林づくり」に関して平成24年5月18日近畿中国森林管理局長と「社会貢献の森における森林整備等の活動に関する協定書」を締結した。高槻市の「社会貢献の森」にて、関西支部の会員及び一般公募の会員により、毎月1回森林整備、自然環境の保全を行った。26年度は作業20回・植生調査1回・観察会2回実施、委員会・理事会各1回開催、4/15総会開催 会員・一般会員合計38名
	宮崎	「水源の森づくり」田野の森(宮崎市)、ロキシーヒルの森(西都市)、野尻の森(小林市)総面積1.1ヘクタールに広葉樹 2000本を植樹して、毎年3回(7、9、3月)下草払い、枝打ち、補植等の作業を行い、森林の育林・保護活動を実施。そのほか「水源の森づくりをすすめる市民の会」の団体会員としても活動している。26年度は延べ35人で作業。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
Ⅲ-2山岳環境 保全活動	北海道	「高山植物盗掘防止事業」を実施、実施期間6月1日～10月10日、大雪山系・十勝連峰、監視活動 延べ140回 実人数30名。日高山脈幌尻岳山岳環境保全協議会と協力し登山者排泄物による山岳環境汚染除去のため2005年からトイレ排泄物人力運搬事業に参加。併せて、山頂、七つ沼カール、トッタベツ岳の清掃も実施。(9月13日-15日 参加者4人)
	宮城	宮城県自然保護課が主催して毎年夏季に実施している栗駒国定公園内の世界谷地湿原保全対策事業に協力するため、5名の会員を派遣した。具体的な作業内容は湿原内のヨシとササの徐伐作業である。
	岩手	姫神山パトロール 年4回 15人参加。最近県外からの登山者が多くなった姫神山の植生の保護、登山道の保全に努めた。
	山形	「鳥海山ワシタカ研究会」鳥海山南麓に於いてイヌワシの動向調査を行う。9月28日 支部会員8名参加。
	岐阜	山岳パトロール 岐阜森林管理署内で森林保全巡視、環境美化のため会員のうち、登録者が巡視。
	東海	猿投の森の生物調査 (赤外線定点カメラ設置)
	京都滋賀	比良山系八雲ヶ原の自然保護活動に支部として参加した。比良ダンダ坊遺跡の整備、自然保護活動を支部会員が中心となって行った。
	広島	NPO法人西中国山地自然史研究会との合同事業として、戦後牧場として開拓された原野を、本来の湿原に再生し、鷹などの猛禽類や野生植物の再生を試みている。広島支部は4/20(土)23名(合計31名)、ひろしま「山の日」の5/31(土)22名(合計30名)が参加して、「霧ヶ谷湿原 自然再生地」(下流部 2.5ha・上流部 1ha)の保全活動を行った。
	北九州	森林保全巡視を実施した。九州森林管理局より委嘱を受けた巡視員26人が、1年間を通じて、夫々の山域でゴミ不法投棄の監視を始めとする巡視活動を行った。7月29日 井原山(11人)、11月16日 孔大寺山～湯川山(7人)。
	熊本	第15回・第16回森林保全巡視登山 4月26日(目丸山) 12名 10月4日(高岳) 9名
自然保護 委員会	「写真が語る山の自然：山岳写真データベース」 広く山岳会会員や一般から過去の山岳写真を集め、現在の山岳写真とを比べて山の植生や環境がどう変わってきたかを比較できるデータベース。利用者は一般の登山者や研究者。管理運営は自然保護委員会が行った。	
他1-1登山 活動指導	北海道	完遂したオホーツク分水嶺の彼方に続くカムチャツカを含めたロシア極東地域において、創立50周年記念事業として北海道の地理的特性を活かした北海道支部ならではの海外登山を計画。その前年に北大の協力の下、自然環境生態系観察を兼ねて沿海地方の世界自然遺産登録のシホテアリニ山脈南端の一座であるオーブラチナヤ山のプレ海外登山を実施した。(日程8月1日～6日 ・ 頂上到達 8月3日 14時15分 ・ 隊員 13名 うち支部会員11名うち北大関係者生態系観察隊長1名 支部会員以外の北大関係者生態系観察隊 2名)
	青森	毎年1月に鱒ヶ沢で山岳スキー研修、春と冬は八甲田山に夏と秋は多方面の山域に登山を行っている。また、20周年記念行事としての県境踏査を継続している。毎回数名から10数名の参加者である。
	東京多摩	「会員向け登山基礎講座及び安全登山講習会」定例山行/年8回実施、118名参加。平日山行/10回実施、95名参加。奥多摩山開き&新入会員オリエン交歓散策山行実施、27名参加。6月7-8日、三支部(山梨・埼玉)合同懇親山行。山梨支部主管開催。多摩支部から7名参加。
	東海	森林力養成講座、沢登り研修会、写真山行、森の勉強会、アイスクライミング研修会等を実施
	宮崎	登山研究会を毎月開催。情報交換、登山技術研修会を実施。支部30周年記念事業として刊行する「神々の山を辿る」30座の踏査を会員56名で実施した。
	集会委員 会	会員のため登山を実施(国内は7月、8月、9月、12月、1月、2月、3月に実施、海外は6月に実施)。

事業名	支部名 委員会名	事業内容
他1-2 文化活動支援	図書委員会	図書交換会の開催（12月6日）。 会報『山』の図書紹介と『山岳』の書評欄の、本の選定・執筆者選定・依頼・入稿
他1-3 年次晩餐会、支 部懇談会	総務委員会	年次晩餐会の開催(12月6日 京王プラザホテル 510名)。秩父宮記念山岳賞受賞者、海外遠征隊による講演会の開催。
	北海道	(登山技術研修)ゲレンデを活用した岩登り研修、7-8月には沢登り研修、積雪シーズンに山スキー、スノーシュー登山研修、12-2月にかけて雪崩研修を座学・実習を全道で展開。20-30名の会員が参加。
	埼玉支部	全国支部懇談会を秩父市で開催して森会長をはじめ全国の支部から201名が参加した。
	関西	支部設立80周年(平成27年)に向けた活動の開始。 ・記念誌の発行準備。 ・記念山行・・・関西支部県境縦走を毎月1回土・日で12回実施、海外記念山行の具体的計画書を作成する。 ・記念式典の具体的内容を詰め、「山」への掲載、他支部への案内文書を送付する。・80周年記念行事への募金活動を実施する。
他1-6	会報編集	会報「山」のNo.827～No.838を発行した。